molten®
From the Inside Out

垂直型手すり

バディー

取扱説明書

最大利用者体重：100kg

目　次

○注意事項・・・・・・・・・・・・P1
○各部名称および梱包内容・・・・P2
○設置場所・・・・・・・・・・・・P4
○設置方法・・・・・・・・・・・・P5
○専用オプションの紹介・・・・・P8
○お手入れ方法・・・・・・・・・P9
○保管方法・・・・・・・・・・・・P9
○点検項目・・・・・・・・・・・・P10
○このようなときには・・・・・・P10
○仕様・・・・・・・・・・・・・・P11

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。利用者様の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談した上でご使用ください。利用者様の身体状態、設置場所を十分確認し、安全であることを確認してからご使用ください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害･財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⃠ ：してはいけない「禁止」を意味します。

(!) ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項

⚠ 警告

①バディーの取り付け、取り外しおよび設置場所の移動は販売店で行ってください。
お客様による取り付け、取り外しおよび設置場所の移動はしないでください。事故や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。

②本製品には従来の小型丸型ストッパーは使用できません。
十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

③天井材や床材の種類によっては設置跡や油分が残る場合があります。必ず利用者様の同意を得て使用してください。
材質や長期間の設置によっては設置跡が残ったり、すべり止め材の色が付着する場合があります。

④I型ストッパー2ヶ仕様は必ず壁（端）にぴったり付けて使用してください。
下部のストッパーにつまずいてケガをするおそれがあります。

⑤コーナーストッパー仕様は必ず部屋の角（隅）にぴったり付けて使用してください。
使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。また、設置時の天井破損の原因にもなります。

⑥コーナーストッパー仕様に各種サイドバーを取り付けて使用しないでください。
使用中に手すりが外れて転倒し、けがをするおそれがあります。

①利用者様の身体状態や足腰の状態の確認がないままの使用は絶対にしないでください。
必ず安全であることを確認の上で使用してください。不安定な姿勢で立ち上がる状態になる場合は、使用しないでください。

②最大利用者体重を超える使用や無理な荷重を加えないでください。
手すりを安全に使用できる最大利用者体重は100kgです。

③梁のない天井には設置しないでください。
梁のない天井に設置すると十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。
また、設置時の天井破損の原因にもなります。

④天井の端および角は、設置時または設置後に浮きがみられる場合があるので、設置には十分注意してください。
天井の端や角は強度が弱い場合があります。天井が浮き上がったり破損し、使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。
※梁のある場所や少し離して設置すると強度が強くなる場合があります。

⑤対応天井高さを超える天井高さへの設置はしないでください。
バディーが取り付けできる天井高さは1.9～2.8mの範囲です。
対応天井高さを超える（または下回る）天井高さへ取り付けると十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑥平らでしっかりと安定したかたい天井と床面に垂直に設置してください。
斜めの天井や柔らかい床、座布団、布団、マットの上などに設置すると使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑦段差や傾斜のある床には設置しないでください。
部屋の敷居や畳の継ぎ目などの段差のある場所やスロープなどの傾斜のある床には設置しないでください。
使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑧斜めや、横向き、上下逆さまに設置しないでください。
斜めや横向き、上下逆さまに設置すると十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑨周辺機器とのすき間を確認して設置し、使用してください。（P5参照）
ベッド周りや壁際へ設置する場合は、それらとのすき間や周辺機器にある家具などとの距離（すき間）には十分注意してください。
（P5「周辺機器とのすき間確認」の頁参照）

⑩屋外や風呂場など風雨にさらされたり水気のある場所には設置しないでください。
バディーは屋内専用です。
屋外や風呂場などの水気の多い場所に設置すると水分などで床面や天井面が滑り、使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑪クランプカバーを取り付けて使用してください。
クランプカバーを取り付けないで使用すると誤ってクランプレバーが動いて、使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑫手すりにぶつかったり、のぼったりしないでください。また、勢いをつけて押したり、引っ張ったり、強い衝撃を与えないでください。
手すりにぶつかる、のぼる、勢いをつけて押す、引っ張る、強い衝撃を与えるなどすると、使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑬サイドバーのすき間を確認し、使用してください。
サイドバーのすき間に頭や首が入らないように十分注意してください。頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、ケガをするおそれがあります。

⑭サイドバーやクロスバーが固定されているか確認し、使用してください。
サイドバーやクロスバーを固定している固定ネジはしっかりと固定し、簡単にずれたり、外れたりしないことを確認し、使用してください。
取り付けが不十分な場合は、使用中に外れ、転倒やケガをするおそれがあります。

⑮取り外し時、天井に天井ストッパーが貼り付いた場合は、速やかに取り外してください。
天井ストッパーが落下して、ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

①ベースと床面との段差でつまずかないように十分注意してください。
ベースと床面の間には段差があります。段差でつまずいて転倒などしないよう、十分注意してください。

②手すり上部の伸縮パイプにクロスバーを取り付けないでください。
手すり上部の伸縮パイプにクロスバーを取り付けると十分な強度が得られず、使用中に外れて転倒やケガをするおそれがあります。

③手すりを上に持ち上げたりしないでください。
手すりの上方向に力を加えると手すりがずれたり、外れたりして転倒やケガをするおそれがあります。

注意事項

④火気を近づけたり、ストーブやファンヒーターなどのそばで使用しないでください。
火気やストーブ、ファンヒーターなどの熱により製品を損傷したり、火災につながるおそれがあります。

⑤サイドバーやクロスバーを無理矢理回したりしないでください。
サイドバーやクロスバーを無理矢理回すと手すり本体がねじれ、手すりがずれたり、外れたりして転倒やケガをするおそれがあります。

⑥壁などに立て掛けないでください。
壁などに立て掛けると、本体が倒れて破損したり、周囲の物を破損させるおそれがあります。

⑦お客様による分解・改造・修理はしないでください。
変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。

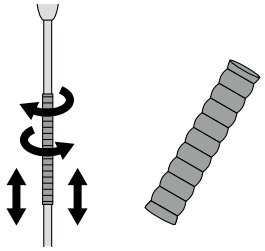
⑧本来の目的以外に使用しないでください。
本来の目的以外に使用すると、製品が外れたり思わぬケガをするおそれがあります。

⑨有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。
清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴・湿気をしっかり拭き取ってください。

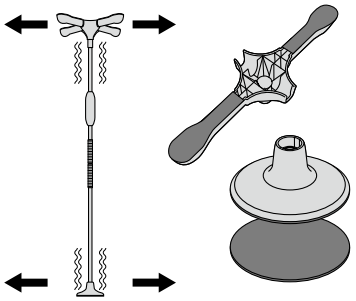
⑩バディーを運搬する場合は、天井ストッパーを取り外してください。
床側にI型ストッパーを使用している場合は、そちらも外してください。ぶつけたり落下したりして破損するおそれがあります。

⑪グリップカバーや丸型ストッパーS、天井ストッパーのすべり止めシートなどが、以下の状態になった場合は、使用を控え交換していただくことをお勧めいたします。
※グリップカバー・すべり止め・グリップシートは単品販売しております。詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

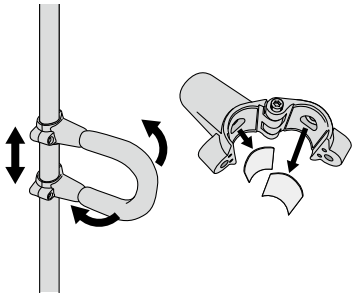
①グリップカバー
定期的に取り外し、手すりとグリップカバー内面をアルコールなどで清拭してください。グリップカバーを握っても上下に動くなど、ゆるみが感じられる場合は、使用を控え交換してください。
グリップカバーは長期間使用した場合は、手すりパイプに汚れなどが付着し、ゆるみが発生することがあります。



②すべり止めシート
設置した状態で確認し、すべりなどが見られる場合は、使用を控えすべり止めシートを交換してください。
丸型ストッパーSや天井ストッパーは、長期間の使用により摩耗や硬化などが発生し、すべり止め効果が低下するおそれがあります。



③サイドバーなどのグリップシート
サイドバーを手すりに固定しても動くような場合は、使用を控えグリップシートを交換してください。
サイドバーのホルダーで使用している透明なグリップシートは長期間使用されると、摩耗や硬化などで保持力が低下するおそれがあります。



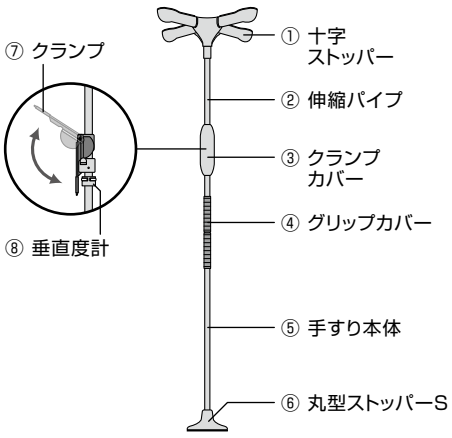
各部名称および梱包内容

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

十字型ストッパー仕様

付属品

●取扱説明書
兼 保証書：1部

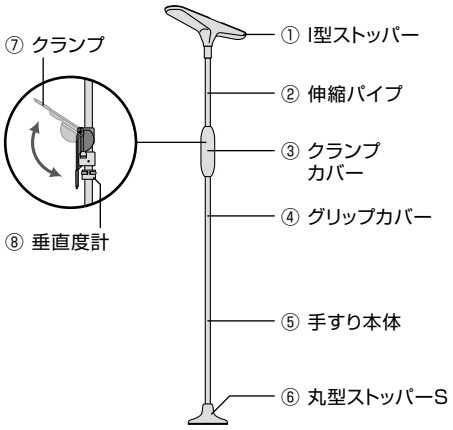


各部名称および梱包内容

I型ストッパー仕様

付属品

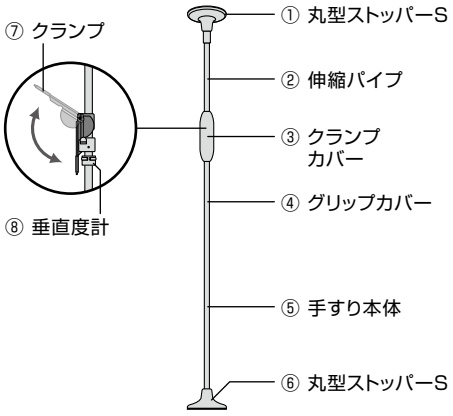
●取扱説明書
兼 保証書：1部



丸型ストッパー仕様

付属品

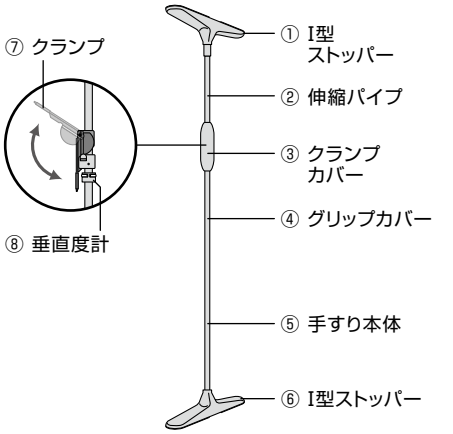
●取扱説明書
兼 保証書：1部

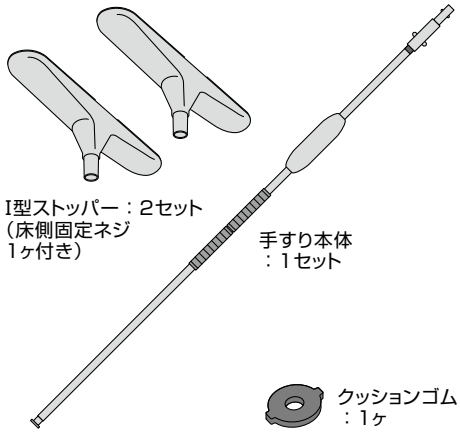


I型ストッパー2ヶ仕様

付属品

●取扱説明書
兼 保証書：1部

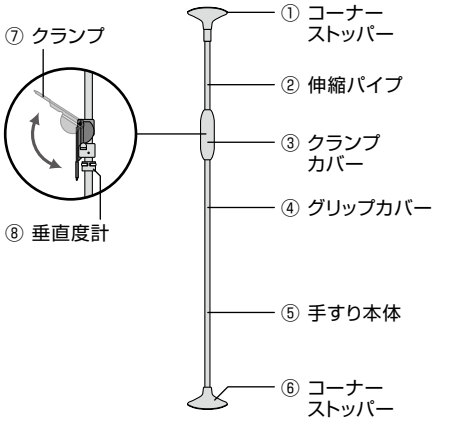




コーナーストッパー仕様

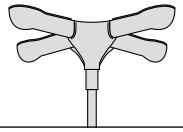
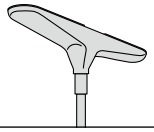
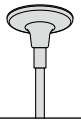
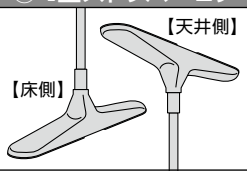
付属品

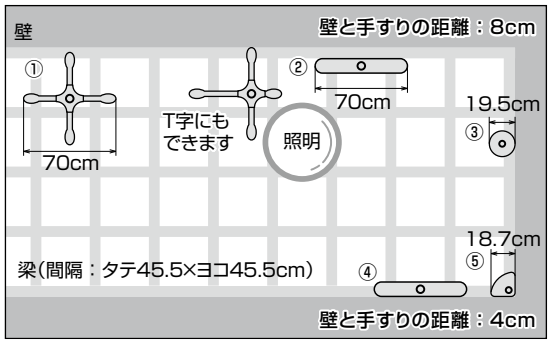
●取扱説明書
兼 保証書：1部



天井の確認と天井ストッパーの選定

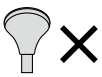
〈設置場所に合わせて選べる5種類の天井ストッパー〉

① 十字型ストッパー	② I型ストッパー	③ 丸型ストッパーS	④ I型ストッパー2ヶ	⑤ コーナーストッパー
				
梁の位置を気にせず どこでも設置可能 天井への負担が少なく、梁を確実にとらえる安定感抜群の標準ストッパーです。	**壁ぎわや部屋の端への設置に最適** 壁と手すりとの距離： **約8cm**	**狭い場所や部屋の角（隅）への設置に最適** 壁と手すりとの距離： **約8cm**	**壁（端）にぴったり付けたい場合に最適** 壁と手すりとの距離： **約4cm**	**部屋の角（隅）にぴったり付けたい場合に最適** 壁と手すりとの距離： **約4cm**
		必ず梁の場所に設置してください。		



⚠ 警告

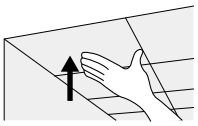
①本製品に従来の小型丸型ストッパーは使用できません。
十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。



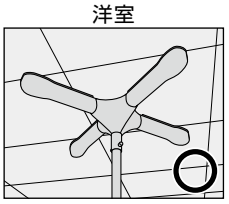
②I型ストッパー2ヶ仕様は必ず壁ぎわで使用してください。
③コーナーストッパー仕様は必ず部屋の角で使用してください。

天井の状態を確認

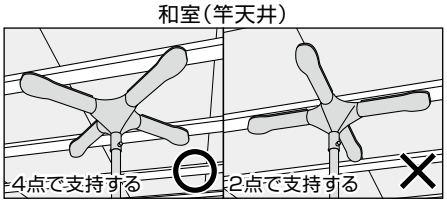
天井強度と梁が通っているかどうかを確認します。
※梁のない天井では設置できません。
※竿天井の場合は4点支持ができるように設置してください。



洋室



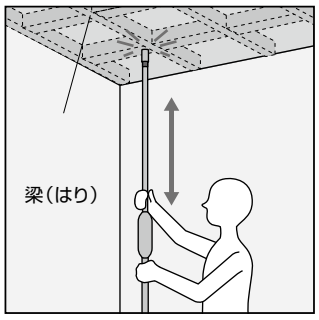
和室（竿天井）



⚠ 警告

天井の端および角は、設置時または設置後に浮きがみられる場合があるので、設置には十分注意してください。天井の端や角は強度が弱い場合があります。天井が浮き上がったり破損し、本体が外れて転倒して重大事故につながるおそれがあります。
※梁のある場所や少し離して設置すると強度が強くなる場合があります。

簡単な梁の確認方法（例）



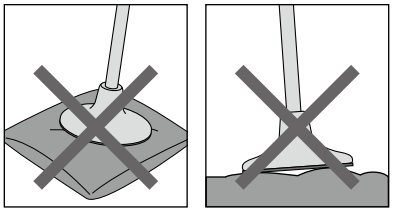
十字ストッパーがついていない状態の手すりで天井の数ヶ所を軽く突き、梁の有無を確認します。I型ストッパーは、梁2本にストッパーがかからない場合は、使用できません。また、竿天井では使用できません。

⚠ 注意

①天井材や床材の種類によっては跡が残ったり、すべり止めシートの色が付着する場合があります。
②湿気や油分などにより天井材が粘着性を帯びている場合は、設置しないでください。取り外し時にすべり止めシートが貼り付き、天井を破損させるおそれがあります。
③天井を破損するおそれがありますので、強い力で天井を突かないでください。

床の確認

平らでしっかりと安定したかたい床面であることを確認してください。
柔らかい床や座布団、布団、マットの上などには設置することはできません。
また、段差のある場所（敷居、畳の継ぎ目など）や傾斜のある場所（スロープなど）にも設置することはできません。ほこりなどは取り除いて設置してください。

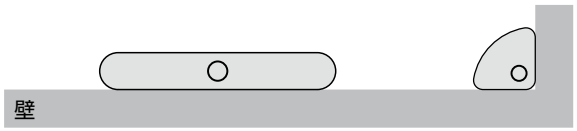


設置場所

周辺機器とのすき間確認

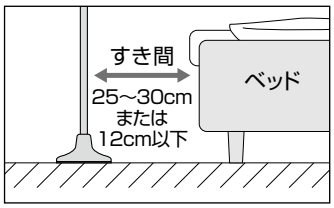
設置位置について

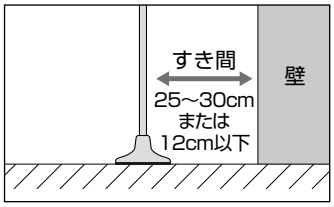
・十字、I型、丸型の各ストッパーを使用する場合のすき間は、ベッドや壁際から25～30cm離すか、12cm以下の位置に設置し、転落してもはさまれない位置であるか確認してください。
・周辺の家具などとのすき間も確認してください。
・I型ストッパー2ヶ仕様は、必ず壁（端）にぴったり付けて設置してください
・コーナーストッパーは、必ず部屋の角（隅）にぴったり付けて設置してください。



【I型ストッパー2ヶ仕様】　【コーナーストッパー仕様】

十字、I型、丸型の推奨すき間寸法：
25～30cmまたは12cm以下





周辺の家具などとのすき間も確認してください。

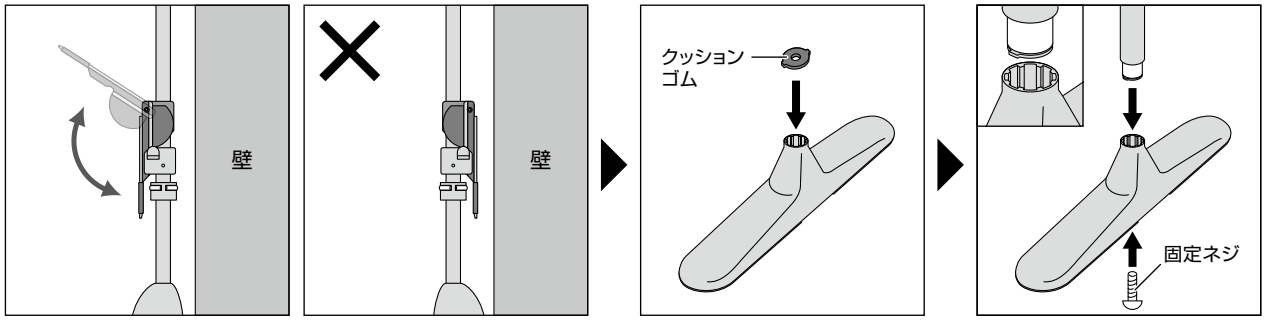
・ベッドサイドから30cm以上離れた場所に設置する場合は、足腰が弱っている方など利用者様の身体状態によっては不安定な姿勢になり、転倒するおそれがありますので、使用をおやめいただくか、必ず介護者の付添いのもとで使用してください。
・必ず利用者様の身体状態に適しているかなど、安全性を確認した上で使用してください。

◎ ひやりはっと事例	①バディーとベッドや壁などのすき間に体がはさまって動けなくなる。 ②介護用ベッドの背上げ、背下げ動作の場合は、バディーとベッドの間に手や腕をはさまれる。

設置方法

1　床側I型ストッパーの取り付け

下図のようにI型ストッパーを固定パイプ下部に取り付けます。



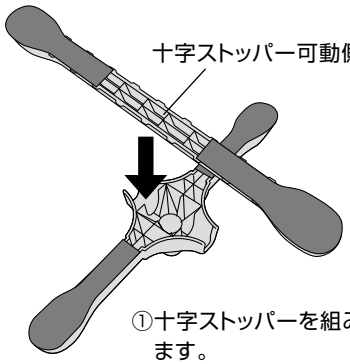
①設置位置を決めて、クランプレバーが開閉できる向きを確認してください。
②クッションゴムを入れてください。
　※クッションゴムの向きは問いません。
③固定パイプの凸形状をストッパーの凹形状に合わせて差し込み、裏から付属の固定ネジで固定してください。

※部品交換等で床側のコーナーストッパーを取り外してしまった場合も、同様に向きに注意して取り付けてください。

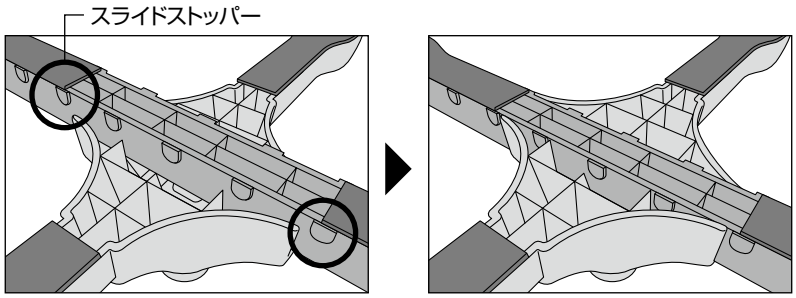
床側が丸型ストッパーSおよびコーナーストッパーの場合は、梱包されている状態のまま設置できます。

2　十字ストッパーの組み立て

下図のように十字ストッパーを組み立てます。
このとき、取り付ける天井に障害物（電灯など）があったり、壁際に取り付ける場合は、十字ストッパー可動側をスライドさせT字形状にすることで、障害物を避けたり、壁際に取り付けることができます。（調整範囲：5段階）

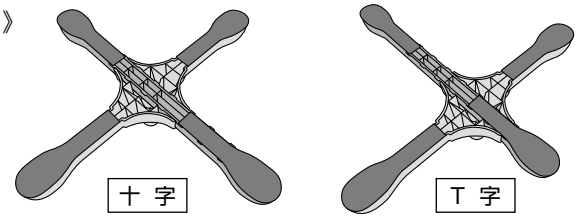


①十字ストッパーを組み立てます。



②十字ストッパー可動側の側面には、ずれ防止用のスライドストッパーがついています。スライドストッパーが当たらないよう、十字ストッパー可動側をはめ込みます。

《組み立て例》



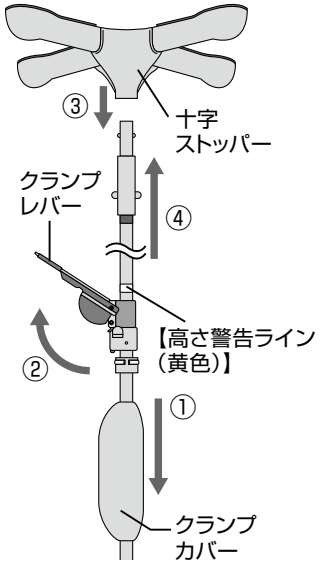
I型ストッパーと丸型ストッパーSおよびコーナーストッパーは組み立てる必要がありません。梱包されている状態のまま設置できます。

3　ストッパーを取り付け、天井まで伸ばす

丸型ストッパーSおよびコーナーストッパーを取り付けるために、プラスドライバーが必要です。工具は付属していません。

十字ストッパー、I型ストッパー、丸型ストッパーS、コーナーストッパーは同じ手順で取り付けることができます。
ストッパーを伸縮パイプ先端に取り付け、天井に当たるまで伸ばします。
このとき、正面と横の2方向から垂直に立っているかを確認してください。

①クランプカバーのファスナーを開けて下にスライドさせます。
②クランプレバーを開きます。
③ストッパーを取り付けます。
④天井に届くまで伸ばします。

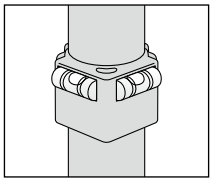


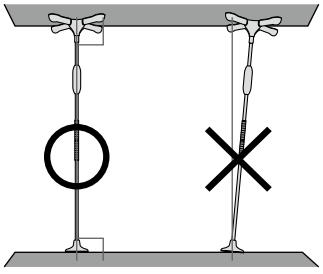
※手すりの伸縮で指をはさまないよう注意してください。
※十字ストッパー、I型ストッパーは、手すり本体に固定されていません。設置時や撤去時にストッパーが落下しないよう注意してください。
※丸型ストッパーS、コーナーストッパーは、付属している固定ネジで伸縮パイプの先端に固定してください。

⚠ 注意　強度の保証ができる上限高さを超えると高さ【高さ警告ライン（黄色）】が見え、上限高さを超えていることをお知らせします。【高さ警告ライン（黄色）】が見えていないことを必ず確認してください。

4　垂直に立っているかの確認

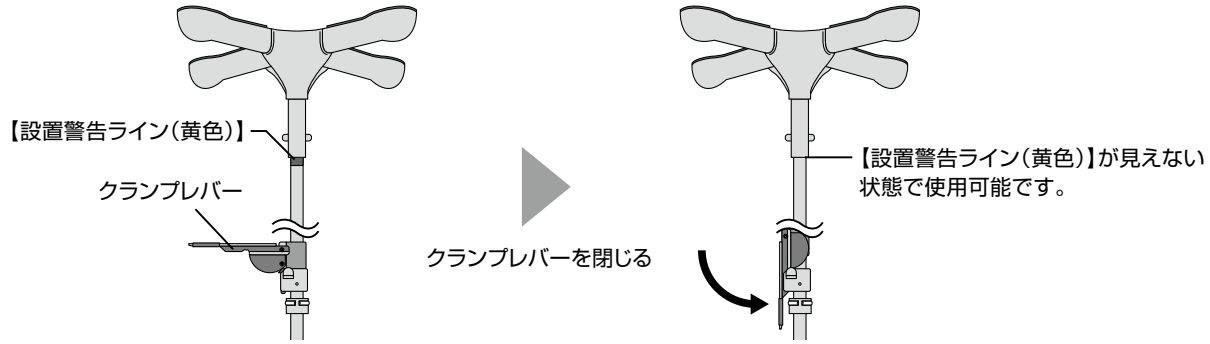
斜めに設置すると安全に使用できません。
取り付け後、手すりが垂直に立っているかを正面と横からの2方向より付属の垂直度計を使用して調整します。
左右とも中央の枠内に気泡が入れば垂直に立っている状態となり、垂直度の設定は完了です。



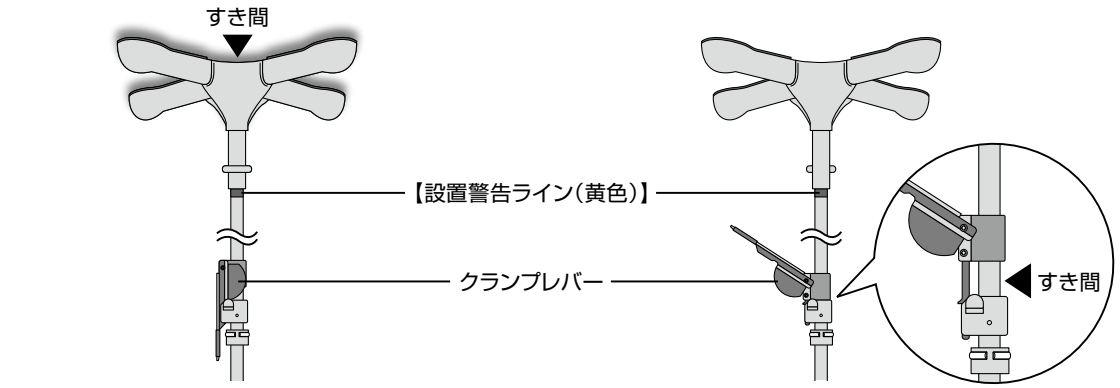


5 クランプレバーを閉じる

片方の手でストッパーを天井に押し当てたまま、反対側の手でクランプレバーを閉じていきます。
正しく取り付けられると設置強度を確認するための【設置警告ライン(黄色)】が見えなくなります。
クランプレバーを閉じても【設置警告ライン(黄色)】が消えない場合は、取り付けが不十分なおそれがあります。
再度、取り付け直してください。



※【設置警告ライン(黄色)】が消えない場合は、下記の点も注意してください。



ストッパーと天井の間にすき間があると、クランプレバーを閉じても【設置警告ライン(黄色)】は消えません。

金具の間にすき間を空けた状態で、クランプレバーを閉じても【設置警告ライン(黄色)】は消えません。

何度取り付け直しても【設置警告ライン(黄色)】が消えない場合は、天井強度または床面強度が低い可能性がありますので使用をおやめください。

⚠警告

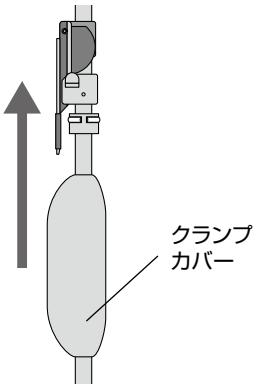
①設置が十分でないことを示す【設置警告ライン(黄色)】が見えていると、安全に使用できません。
【設置警告ライン(黄色)】が見えていないことを必ず確認してください。
②クランプカバーを必ず取り付けて使用してください。

6 クランプカバーを取り付ける

最後に、クランプカバーを押し上げファスナーを閉めて、クランプレバーを全て隠します。
使用中、誤操作などにより誤ってクランプレバーが外れることが無いよう、必ずクランプカバーを取り付けて使用してください。

⚠注意

設置が完了したら、必ずクランプカバーを取り付けて、クランプレバーが完全に隠れるようにしてください。
クランプレバーの誤操作を防止します。

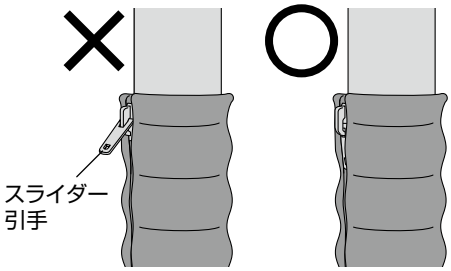


設置方法

7 グリップカバーの位置調整

グリップカバーのファスナーを開け、グリップカバーを適当な位置へ合わせた後、ファスナーをしっかり閉じてください。
スライダーの引手はグリップカバーから飛び出さないよう右図のようにグリップカバー内に収めてください。

> ⚠ **注意**　グリップカバーにゆるみがなく、伸びていないことを確認してください。ゆるみがあり、動く場合は交換してください。



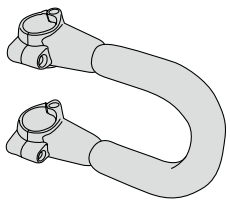
専用オプションの紹介

> ⚠ **警告**　コーナーストッパー仕様に各種サイドバーを取り付けて使用しないでください。

サイドバー HS

立ち座りや寝返りをサポート

コの字型のサイドバーを連結すると、より力が入れやすく立ち座りの動作が容易になります。またベッドや布団で使用する場合は、寝返り用のバーとして使うこともできます。

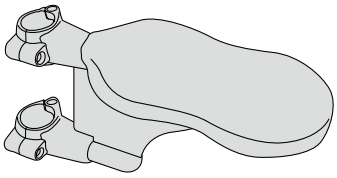


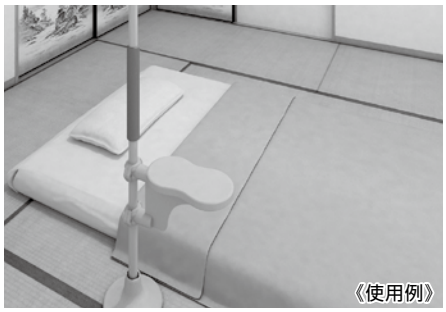
《使用例》

丸型サイドバー

手のひらや肘で体を支えての立ち座りをサポート

麻痺やリウマチなどで手すりを握れない方でも、平らな面に手のひらや肘を置いて体を支えられ、どこからでも指を掛けることができます。ひょうたん形状で面積が広いので、動作が安定します。




《使用例》

L型サイドバー90

玄関（段差の小さい上がりかまち）での立ち座りをサポート

バディーと組み合わせて設置することで、靴を履くときの立ち座りや段差の昇り降りでの動作をサポートします。ベランダに出るときの歩行にも使えます。

※段差の目安：10cm以下

《使用例》

L型サイドバー45

玄関（段差の大きい上がりかまち）での立ち座りをサポート

バディーと組み合わせて設置することで、靴を履くときの立ち座りや段差の昇り降りでの動作をサポートします。

※段差の目安：10～36cm

《使用例》

専用オプションの紹介

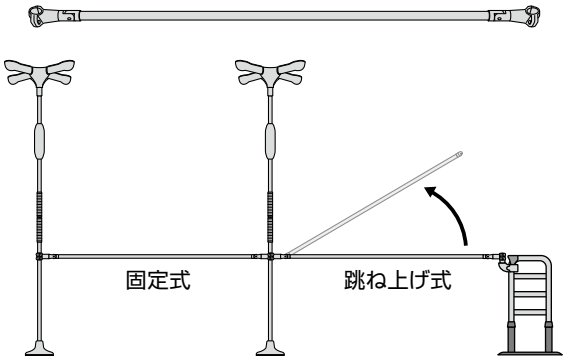
クロスバー

昇降支援+歩行支援

バディーをクロスバーで連結することにより、昇降動作だけでなく歩行動作もサポートできるようになります。廊下や室内の必要な空間に手すりを設置できます。

用途や目的に応じた連結が可能

H型に限らず、用途や目的に応じて複数のバディーを連結することができます。また、クロスバーは水平だけでなく斜めにも取り付けられ、扉や入り口の前に設置する場合は、跳ね上げ式にすることも可能です。

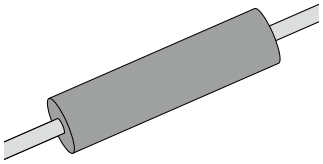


《使用例》

立位保持パッド

もたれかかることで立位を保持

バディー本体やクロスバーに取り付けて、もたれかかることで立位（立っている姿勢）を保持するクッション材です。容易に着脱でき、取り付け時は回転防止機能がついているので、安全に使用できます。



お手入れ方法

●手すり本体、ストッパー、サイドバー、クロスバー、グリップカバー

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。その後残った洗剤分を水に浸して、よく絞った布で拭き取ってください。最後に乾いた布で水滴･湿気をしっかり拭き取ってください。

⃠ 滑るおそれがありますので、手すりに湿気がある状態でグリップカバーを取り付けたり、手すりとグリップカバーのすき間に水分を流さないようにしてください。

⃠ 有機溶剤（シンナーやベンジンなど）やスプレータイプの殺虫剤、強塩酸洗浄剤などを使用しないでください。

保管方法

⃠ サビやカビが発生するおそれがありますので、湿気の多い場所では保管しないでください。

⃠ 手すりを重ねて置いたり、不安定な状態での立て置き保管はしないようにしてください。

(!) 汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。

(!) 材質や色などが変化するおそれがありますので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

点検項目

●バディー組み立て後の確認事項

組み立てが完了しましたら、下記の点検項目を確認してください。またこの点検項目は日常の点検にもお使いください。

本製品には従来の小型丸型ストッパーは使用できません。
十分な設置強度が得られず使用中に手すりが外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。

	点検項目	確認	
1	**天井上限高さの確認** ・【高さ警告ライン(黄色)】は見えていませんか?	**YES** □	**NO** P6参照
2	**設置強度の確認** ・【設置警告ライン(黄色)】は見えていませんか?	**YES** □	**NO** P7参照
3	**垂直に立っているかの確認** ・正面と横の2方向から見て垂直に立っていますか? ・水平器などで確認して垂直に立っていますか?	**YES** □	**NO** P6参照
4	**クランプカバーの取り付け確認** ・クランプカバーを取り付けていますか? ・クランプがクランプカバーで完全に隠れていますか?	**YES** □	**NO** P7参照
5	**I型ストッパーで使用する場合の確認** ・天井の梁を2ヶ所で押さえ付けていますか?	**YES** □	**NO** P4参照

このようなときには

症状	確認	処置
バディーがずれたり グラグラして不安定	小型丸型ストッパーを使用して いませんか?	他の天井ストッパーに交換してください。 (P4参照)
	【高さ警告ライン(黄色)】が 見えていませんか?	天井上限高さを超えています。 使用をおやめください。(P6参照)
	【設置警告ライン(黄色)】が 見えていませんか?	再度、取り付け直してください。(P7参照) 天井、床強度が不足している可能性が あります。
	垂直に取り付けられていますか?	付属の垂直度計を使用して垂直になるように 取り付け直してください。(P6参照)
サイドバーが下がる 回転する	ブラケット固定ネジがゆるんで いませんか?	ブラケット固定ネジをしめてください。
クロスバーが下がる	ブラケット固定ネジがゆるんで いませんか?	ブラケット固定ネジをしめてください。
グリップカバーを握っても 上下に動く	ファスナーがゆるんでいませんか? グリップカバーが伸びていませんか?	動く場合は、交換してください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
㈱モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口 TEL(082)578-9226
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

仕 様

バディー

品番　MNTCM（十字型）／MNTCMIS（I型）／MNTCMRCS（丸型）／
MNTCMISW（I型2ヶ）／MNTCMCRS（コーナー）

●素　　材　主材：スチールパイプ、表面：木目調樹脂、グリップカバー：オレフィン系エラストマー

十字型	対応天井高さ1.9～2.8m	収納サイズ：1.81m	グリップ直径：3.65cm	重量：7.1kg
I型	対応天井高さ1.9～2.8m	収納サイズ：1.81m	グリップ直径：3.65cm	重量：6.6kg
丸型	対応天井高さ1.9～2.8m	収納サイズ：1.81m	グリップ直径：3.65cm	重量：5.7kg
I型2ヶ	対応天井高さ1.9～2.8m	収納サイズ：1.81m	グリップ直径：3.65cm	重量：7.4kg
コーナー	対応天井高さ1.9～2.8m	収納サイズ：1.81m	グリップ直径：3.65cm	重量：5.6kg

■1年保証

●最大利用者体重：100kg

TAISコード／00054-000054（十字型、I型、丸型共通）
TAISコード／00054-000468（I型2ヶ）
TAISコード／00054-000467（コーナー）

開発・製造元

ISO9001認証取得

本製品の取扱説明書は下記QRコードからダウンロードいただけます。

取扱説明書

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
札幌／仙台／さいたま／東京／名古屋／大阪／広島／福岡
製品他、各種お問い合せは
〒733-0036　広島市西区観音新町四丁目10-97-21
TEL.082-578-9226
E-mail:health@molten.co.jp
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2026.06